

あっぷる通信

経営指針
利用者目線に立ってサービスを提供する



また、高齢者の施設ですの
でヘルシーな料理を追求して
います。カロリー計算、栄養
バランスはもちろん、出汁を
利かせること
による塩分の
調整、オーブ
ン使用による
油分の調節な
どの工夫も行っ
ています。

ヘルシー料理の追求!
私の原点は、やはり母親や
祖母が作ってくれた家庭料理
です。入所されているご利用
者様にとっては、アップルは
家庭と同じ生活の場だと思
います。ですから、家で三度ご
飯を食べているという感覚を
感じてもらえるような料理を
目指して努力しています。

**家庭の温かさや懐かしさを
感じられる料理を!**
数多くの施設の厨房を任さ
れ、この4月の異動で当施設
に來られた八木主任にお話を
お聞きしました。

**魚国総本社
八木主任の思い**
「食事は給食業界のパイオニア
と言われている魚国総本社に
委託しています。今回は当施設自慢の食事に
ついてご紹介します。」

食事へのこだわり



アップル学園前の食事を支える厨房スタッフ
前列左から2番目が魚国総本社八木厨房主任

一度の食事で三度「おいしい」と言っていただけ
いつも心がけていること
は、ご利用者様が、食事を
見た時に「美味しそう」と、
それを口にしたら時に「これ
は美味しい」と、そして、
食べた終わった時に「美味
しかった」と、
三度「おいしい
」と言っている
「おいしい」
頂けるように
することです。
すなわち、
見た目「美
味しそう」と
感じて頂き、
実際に
食べてなるほど「美味
しい」と納得して頂き、
食べ終わっ
た時に「美味
しかった」と
満足して頂く
ことにより、
笑顔で楽し
んで食事を
頂くこと
です。そんな
食事に日々
取り組んで
います。



**季節や行事を
考慮したメニュー**
夏は冷麺や
スイカ、土用
の丑の日には
うなぎと、季
節や行事を考
慮したメニュ
ーとなっております。
下欄は土用
の丑に出たう
なぎ丼(写真)
とその時のメ
ニュー表。

管理栄養士より
私たちの体は食べたもの
から作られています。食
べたことにより、お腹の中
から元気な笑顔が出てくるよ
うにサポートさせていた
いております。
そのために「美味しい食事
」元気の出る「食事」を指し、
一人ひとりの健康状態や体
格や好みを考慮し、食事量
や食事形態・栄養バランス
等の工夫をしております。
また、食事時間に皆様か
ら多くのご意見をいただき
ることを一番大切に思っ
ています。ご期待に沿えるよ
うに日々努めております。
皆様と楽しい時間が共有
できる栄養の仕事を中心
として、施設の職員や厨房
のスタッフとともに力を合
せて、食事を楽しく合
わさって、食事を楽しま
せていただけるように思
います。
管理栄養士 森山廣江

7月21日(木)
*土用の丑
うなぎ丼
夏野菜炊き合わせ
酢の物
漬物二種盛り
おそば椀



「仕事と遊びの人生」
私達の楽しみの一
つに「遊び」があ
ります。
一生懸命仕事をして、や
つと廻って来たお休
みを充分に楽しむた
めにあれこれ計画
を練って、さていざ
実行したとき、時
には期待に反し
て十二分に楽しめ
ていない時があり
ます。
仕事を人一倍やり、
くたくたに疲れ果
て、自分で納得
できない仕事を
一生懸命やっ
た時に、やっ
と仕事のこと
を忘れること
の出来る「遊
び」のなかに
こそ満足とい
える「喜び」
を感じるこ
とが出来
るのです。
私たちは仕事
に對し、一
生懸命、四
六時中、休
みの中でも
、仕事のこと
を頭のなか
で考えてい
るような時
に遊ぶ喜び
は「仕事
のこと」を
完全に忘れ
た本気の遊
びを体験し
てみるの
です。
これからは
「本気の遊
び」を求め
、仕事に集
中し、仕事
のこと、常
に頭の中
に一杯に
しておき
ましょう。
そのとき
こそ遊び
の中に
「仕事
のこと」
を解放さ
れ、100%
「仕事
のこと」
を体験し
ましょう。
(顧問 西藤清紀)



平成二四年度 運営目標実行プラン発表会を開催

平成二四年度七月一九日（木）午後六時から施設内二階フロアーにて、職員約七六名が参加し、「平成二四年度運営目標実行プラン発表会」を開催した。先ず北神理事長が挨拶に立ち、法人運営目標を発表。

あたり前のことが 望まれている

その中で「地域の高齢者が何を希望されているのか」と言えば、自分のことが自分ででき、最後まで自分の家が居る。そんな当たり前のことが望まれている。在宅支援と言うのはそれに応えることだ」と強調。

認知症の方への 対応強化

また「認知症の方は、支援方法を間違えると、でき



法人運営目標を発表する北神理事長

ることができなくなっていく」と述べ、認知症の方への対応を強化していくことを確認した。

地域包括ケアの核に

そしてその当たり前のことをやるのが「来るべき地域包括ケアの核になる準備」に繋がるのと述べ、ここで発表された方針のもと、取り組んでいきましようと呼びかけた。

そのあと、村田事務長が法人運営指針を、各部門長が部門目標を発表。最後に、西藤顧問が訓示を述べ、発表会を締めくくった。



職員親睦会と十年勤続表彰

発表会の終了後、引き続き職員親睦会と十年勤続表彰を行った。山田統括部長の乾杯の音頭のあと、職員は軽食と飲み物で歓談。



親睦会の途中で勤続十年の職員三名が表彰された。食事は一ページで紹介した魚国さんが用意、美味しい食事で話が弾んでいた。

法人トピックス

夏祭り実行委員会 スタート

平成二四年度六月十一日に夏祭り実行委員会の第一回合が開催され、八月二六日の夏祭りに向けて本格的な準備がスタート。各部門から委員が集まり、新たなチャレンジをしようと討議した。

施設トピックス

パワーリハビリ 施設見学会を開催

平成二四年度六月三日パワーリハビリテーション施設見学会を開催し、二三名が参加。

先ず、健康運動実践指導者の泉谷歩チーフがパワーリハビリテーションについて、事例も交えながら効果や魅力を解りやすく講演。



続いて、同じく健康運動実践指導者の南本主任とスポーツトレーナーの小坂氏が実技を交えながら、各マシンの使い方と効果を具体的に詳しく説明。参加者からは「大変解りやすく、運動が大切だと思いました」と好評でした。



ご報告とお知らせ

【報告】

◎登美ヶ丘北中学校
による交流会実施

平成二四年度七月一三日（金）登美ヶ丘北中学校の生徒約七〇名が来所。ご利用者と歌や紙芝居、折り紙などで「交流会」を実施。例年の約二倍の人数で大変にぎやかな交流会となりました。



◎中堅職員研修実施

平成二四年度七月二三日（月）に「リーダーシップとキャリアプラン」をテーマに中堅職員研修実施。

◎勉強会実施

平成二四年度七月一七日（火）「事故防止委員会」「排泄委員会」による勉強会を実施。

【お知らせ】

◎法人行事

八月二六日 夏祭り

◎入所行事

九月 秋の園芸
十月 秋の遠足

◎通所（パワーリハ）行事

八月一六日、スイカ割り
十月 秋の遠足

◎小規模多機能行事

九月 おやつ作り
十月 外出レク

施設トピックス

リハビリ部門登場

「リハビリは私たちに任せよう」

アップル学園前ではリハビリ専門職員として、常勤理学療法士九名、非常勤二名、常勤作業療法士一名（産休中）、非常勤言語聴覚士一名を擁しています。今回は、今年入社した理学療法士四名に、アップル学園前でもリハビリに当たる上での意気込みを聞いてみました。

新しく入った職員から一言

【理学療法士九年目の古沢岬】

「一人ひとりに合ったリハビリを」

私は仕事をする時、自分本位にならず利用者様の役に立てる様にと心掛けています。入所・デイ・パワーとそれぞれの利用者様の状態やご希望は異なりますが、それぞれの利用者様に満足して頂ける



上段右端が道添さん。下段右端から古沢さん、重さん、鈴木さん。（先輩職員と写す）

様、画一的にならず、一人ひとりに合ったリハビリを提供したいと思います。

【理学療法士一年目の重めぐみ】
「ご利用者様の笑顔を増やして」

仕事は毎日が緊張の連続ですが、本当にやりがいのある仕事です。これからもご利用者様の笑顔を増やしていけるよう、日々努力を惜しまず一日一日を実りのあるものにして、ご利用者様へ還元していきたいと思えます。

【理学療法士一年目の道添弘太郎】
「ゆとりある生活を送れるように」

私の目標は、ご利用者様の様々な問題、困っている事を「なかつたことにする」事です。「もう痛くない」「もう出来る」「そんな身体づくりと、ゆとりある生活を送れる様に努めて参ります。

【理学療法士三年目の鈴木江奈】
「コミュニケーションを大切に」

尊敬する上司と先輩たちに囲まれて充実した毎日を送っています。ご利用者様とのコミュニケーションを大切に、楽しみながらリハビリを行なっていきたく思っています。皆様にもっと笑顔が増えますように！

以上が今年入社した四名です。利用者様が住み慣れた地域で、いつまでも暮らす事ができる様に努めて参りますので、宜しくお願致します。

新連載
認知症と向き合う
居宅ケアマネの視点から
第二回

「こんな対応していませんか」

認知症の方を在宅で介護されている中で、「なぜ〇〇するのかわからない」「どうしてわかってくれないの」と感じる場面があるかと思えます。

例えば、「繰り返し同じことを聞かれる」「ものを盗られたなどいい落ち着かない」「夜に起きてしまい昼に寝てしまう」など、様々な認知症状として行動であったり、行動面での困りごとがみられるかと思えます。

その様な時にどのように声をかけておられるでしょうか。はじめは優しくその都度答える事ができていても、何度も繰り返し返えられると強い口調で言ってしまう事もあるかもしれません。「そんなことはないでしょ」「違うでしょ」と否定してしま

うことがあるかと思えます。認知症により自分でできていたことができなくなる不自由さ、不安感、時間の間隔がずれてしまい、昔の記憶の中で現在が進行しているなど、その方にとっ

ど肯定的な声かけや、その方に寄りそう気持ち、理解しようとしていることが伝わればその方は安心されるのではないと思

ます。パーソン・センタード・ケアという考え方があります。



認知症をもつ人の心理的ニーズ

「くつろぎ」緊張がなく心身ともに痛いところなどが無い状態

「自分らしさ」自分の生きざま、習慣、好み、思考

「結びつき・愛情・こだわり」その人の価値観

「たずさわること」やれることは自分でしたいという気持ち

「共に在ること」傍で一緒にすごし、話し合うこと（本人と共にいる事）

認知症の方、家族様が心穏やかに過ごせる様、ご支援できたらと思えます。

何かお困りごとがありましたらお気軽にご相談下さい。

（施設ケアマネジャー）

片田美由紀



新企画

職員登場 (事務部より)

今年からお茶を習い始めました。いつかは習いたいと思いがちながなかなか決心がつかずにいたのですが、いざ始めてみれば、お点前などの動作や扱う器物、いろいろな季節感や、細やかな心遣いなど、どれも目新しく興味深くて、お茶ってこんなに面白いものだったのか、と驚いてばかりです。



週に一度のお稽古ですが、仕事とはまったく違う時間を持つことで気持ちもすっきりとして、気分転換にも効果抜群です。

(佐藤陽子)

私の気分転換の一つに『お灸』があります。

小学校時代からの友人が鍼灸師をしており、「疲れがたまつたな」と感じたときには針やお灸をしてもらいます。

私は事務仕事をしていますので、よく目が疲れたら、肩がこつたりするので、お灸をしてもらうと身体が楽になり、気分がスッキリします。これを自宅でもしよう！と始めたのがきっかけです。



お灸は、あまりなじみがないと思いますが、今はアロマの香りがするものなど種類も色々あります。癒されながら自分の身体をいたわって、毎日を元気に過ごしていきたいなと思っています。

(山崎久美)



事務の制服を着ている佐藤さん(右)、クールビズでポロシャツを着ている山崎さん(左)

◎アップルだより夏号より (広報委員作成アップル壁新聞の抜粋です。)

「日本三大夜景」

日本の夜景の中でも、特に美しいとされる三か所で、『函館』『神戸』『長崎』があります。

函館の夜景



函館山から望む夜景は、陸繋島のくびれた形の市街に輝く街灯りと漆黒の海のコントラスト、さらにイカ釣り漁船が漁の際に灯すランプ(集魚灯)が繰り成す美しい夜景が有名。また、夜景の中に「スキ」「ハート」の文字を見つけると幸せになれると言われています。

神戸の夜景



摩耶山の山頂近く、展望台(標高690m)からの阪神間の夜景が美しいです。展望台には、蛍光材で舗装された「摩耶」が整備されています。夜間はブラックライトにより歩道全体が青く光ります。

長崎の夜景



稲佐山は標高333mと低いながらも、長崎港を見下ろす位置にあるため、山頂(展望台)から見える景色は良好で、昼夜問わず多くの観光客や市民が訪れるようです。

編・集・後・記

当法人の年度は七月から始まる。二ヶ月前から前年度の総括を行いながら、新年度の目標を考える。総括の後、法人目標が一ヶ月前に発表され、それから部門、個人と、具体的な目標が立てられる。当法人は目標管理制度を採用しており、職員に「これを達成すればいいな」「これを達成すればよくないな」と心から思える目標を設定をお願いした。今オリピックが行われているが、目標に向かって努力し、一生懸命に取り組む姿に感動する。まして、やり遂げた時はなおさらだ。今年も納得できる目標ができたと感じている。一年間、今の気持ちを忘れずに、目標に向かって努力したいと思う。そして、達成感を

(平岡)

